

# ほんのもり



No. 3 2023. 6

富岡中学校図書館  
学校司書 村木加津

～富岡中学校図書館だより

『芒種（ぼうしゅ）』という言葉を知っていますか？

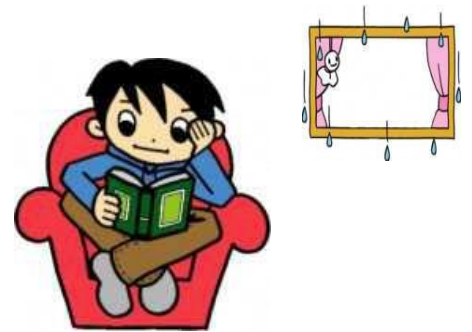
二十四節気のひとつで、「芒」は「のぎ」とも読み、イネ科植物の穂先にあるとがった部分のことです。芒種は6月5日から20日頃のことをさし、梅雨をむかえる直前に、穀物の種をまいたり田植えをする時期とされました。（『絵本ごよみ二十四節気と七十二候』教育画劇より）

そろそろ雨のシーズンです。雨が続くと「外に出るのが面倒だなあ・・・」と、ついっと思ってしまうそんな時こそ、本の世界にゆっくり浸ってみてはいかがでしょうか？

富岡中図書館では、本を借りる利用者数が1日平均10人前後と少し寂しいです。ぜひ本も借りに来てくださいね！！

## 『梅雨読（つゆどく）』しませんか？

「雨が降ってすることがないよ～！」というあなた。  
そんな時こそ読書がオススメです。一人の時間を大いに  
楽しんでみてはいかがでしょうか？



## 雨の日に読みたい本特集！

### 『雨の降る日は学校に行かない』

相沢沙呼/著 913ア

「ねえ、卵の殻が付いているよ」サエは手をのばして制服についたそれをとってくれた。このゆで卵は保健室に閉じこもるための兵糧だ。そしてそこは、教室に居場所のないサエとナツのささやかな楽園だった。ところが、サエが突然“自分のクラスに戻る”と言い出して・・・。「先生、どうして私たち学校に行かないといけないの？」「なんとなく学校で居場所がない」学校生活に違和感を覚える中学生の少女たち。揺れ動く6人の中学生の心を綴るストーリー。そっと寄り添ってくれる1冊です。

### 『死神の精度』 伊坂幸太郎 913イ

「おれが仕事をするといつも降るんだ」クールでちょっとズレてる死神の名は千葉。音楽が好きで時間があればCDショップに行く。彼が仕事のために人間界へ赴くと必ず雨が降っており、青空を見た事がない。死神が素手で人間に触れると、人間は気絶し寿命も一年間縮まってしまう。死神の千葉は、調査部員として人間の世界に派遣され、調査対象である人間を一週間にわたり観察し、死を見定める。「可」にした場合、対象者は八日目に死亡。「見送り」とした場合は対象者は死ぬ事なく、天寿を全うできる。6つの物語が収録されています。

★本の内容紹介は各出版社商品紹介などから抜粋★

# 富中生ならこれを読め!

司書、村木が中学校の図書館で仕事をするようになって3校目。以前、小学校の図書館にいた時にはあんなに図書館で本を借りてくれていたのに、中学生になったとたん貸出し数は激減。きっと図書の時間がないのもその理由の1つでしょう。しかし、富中には朝読書の時間があります。そこで図書館を利用しないなんて本当にもったいない、というわけで、『富中生ならこれを読め!!』コーナーを作ってみました。是非、図書館に来てみませんか? あなたの気に入る本があるかもしれませんよ。みなさんのいろんな意見も聞かせてください。



① 『きみの友だち』 913シ 重松清/著

友だち? 他人だよ、そんなの。でも特別な他人、大切な他人。嬉しいこと、つらいことがいっぱいあったから「友だち」の意味がわかった。痛みや喪失を乗り越え、少女たち少年たちはやがて…。

② 『こども六法』 320 山崎聡一郎/著

いじめや虐待は犯罪です。もし法律という強い味方がいることを知っていたら…。誰でも読めて、法律のむずかしい用語もできるだけわかりやすくして、イラスト付きで解説しています。

③ 『ツナグ』 913ツ 辻村深月/著

一生に1度だけ、死者との再会を叶えてくれるという。ツナグの仲介のもと再会した生者と死者。死者との再会を望むなんて生者の傲慢かもしれない。でも…。

④ 『メシが食える大人になる! よのなかルールブック』 159 高浜正伸/監修

人生を生き抜くための50のことば! いいことを言うよりもよい行動をとる。すぐに「きれい」「苦手」と言っただけで自分の世界をせばめない。「後悔」はしない。でも「反省」はしっかりする。などなど

⑤ 『推し、燃ゆ』 913ウ 宇佐見りん/著

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。

⑥ 『水を縫う』 913エ 寺地はるな/著

周囲から浮いている手芸好きの清澄は、1歳の頃に父と母が離婚し、祖母と母と結婚を控えた姉の水青との4人暮らし。そんな姉のため、ウェディングドレスを手作りすると宣言する。

⑦ 『西の魔女が死んだ』 913ナ 梨木香歩/著

中学校へ行けないまいは、祖母のもとで「魔女修行」をすることになった。でもそれは、何でも自分で決めるということだった…。

⑧ 『桃太郎のきびだんごは経費で落ちるのか?』 345 高橋創/著

鬼ヶ島から財宝を持ち帰った桃太郎を待っていたのは、毎年の確定申告でした。果たしてこの財宝はどう申告したらいいのか、鬼退治に使った「きびだんご」は経費として認められるのか…。

⑨ 『本屋さんのダイアナ』 913ユ 柚木麻子/著

私の名は大穴(ダイアナ)。おかしな名前もキャバクラ勤めの母が染めた金髪も、はしばみ色の瞳も大嫌い。けれど小学3年生で出会った彩子はそのすべてを褒めてくれた。

⑩ 『10代のうちに知っておきたい折れない心の作り方』 146 水島広子/著

10代が抱えるさまざまな悩みやストレスから心を守って、自分らしく生きるための『心の原則』を教えてくれる。

⑪ 『夢をかなえるゾウ』 913ニ 水野敬也/著

ダメダメな僕のもとに現れたゾウの姿をした神様がネーシャ。1日ひとつずつ出される課題を全て実行すれば夢がかなうというのだが…。

